

2014

7月27日(日)
～8月3日(日)

第2次大戦中、命のビザを発給し、6千人のユダヤ人の命を救った八百津町出身の元外交官杉原千畝氏をたたえる「杉原ウィーク2014」(八百津町主催)を、杉原氏の命日(31日)を挟む、7月27日から8月3日まで開催しました。

8月3日(日)

〈八百津橋付近〉

蘇水峡川まつり

約650発打ち上げられた花火が、夏の夜空を彩り、川面に映る花火の姿、山に反響した音と競演し、詰めかけた観客は歓声をあげていました。また、役場周辺では、納涼広場が開かれ、多くのお客さんで賑わいました。



7月24日には、「新丸山ダム工事事務所建設工事安全技術委員会」のみなさんが気持ちよく花火が見られるようにと会場の草刈りを行いました。



大輪を咲かす花火

8月4日(月)

〈川まつり会場周辺〉

クリーン大作戦

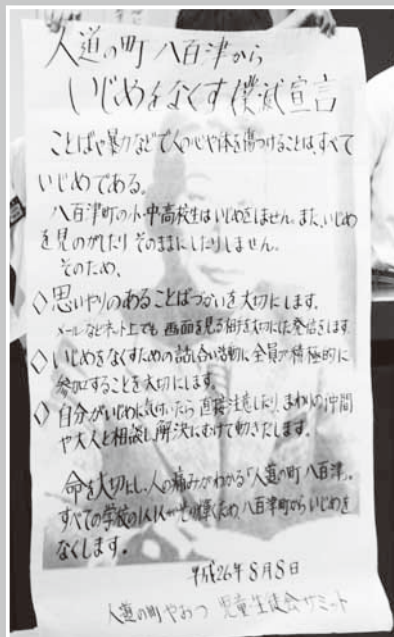
八百津高校、八百津中学校、八百津小学校、錦津小学校、和知小学校の生徒児童223名が参加し、花火大会でにぎわった会場周辺の清掃活動を行いました。



橋に捨てられたゴミを拾う生徒ら



拾ってきたゴミを分別する生徒ら



町内の小中高生27人が「いじめ」について語り合いました。

また、いじめをなくす撲滅宣言が発表され「八百津町の小中高生は、いじめをしません。

また、いじめを見逃したり、そのままにしたりしません。」と高らかに宣言しました。

右:「いじめ」に対して自分の意見を述べる生徒

左: サミットで宣言された「いじめをなくす撲滅宣言」

8月8日(金)

〈ファミリーセンター大ホール〉

児童・生徒会サミット

